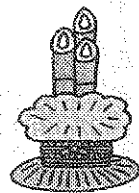
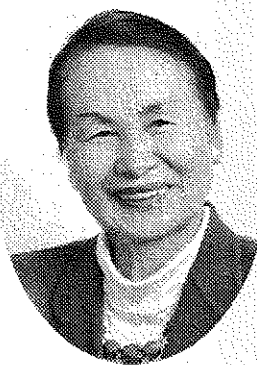


新春に寄せて



新しい年が最良の年でありますよう願っております。
「憲法」も「消費税」も「沖縄」も「原発」も住民の思いに背を向け、数の力による強権政治で暴走する安倍政権と自民・公明、その勢力に打ち勝つ力は、市民と野党共闘の力、そして日本共産党の躍進です。国の悪政の防波堤になる地方自治体の政治を「住民こそ主人公」の精神で七期目に挑戦します。
“花には太陽を 子どもには平和を 高齢者にはやすらぎを”
誰もが住んでいて良かったと言える町づくりを目指し頑張ります。

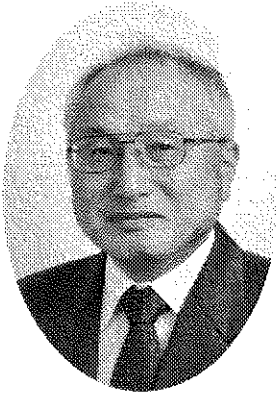
日本共産党寄居町委員会
委員長 町議



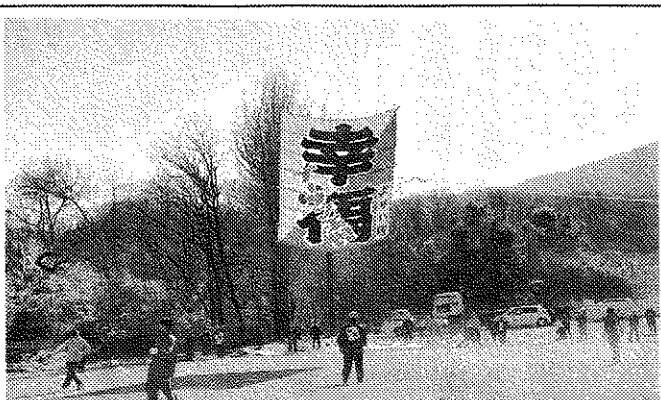
田母神 節子

町民の声を議会に届け平和と暮らしを守るため奮闘しています。国の悪政が生活を苦しめています。国政を国民生活と福祉優先に変えなければなりません。政治を変えるには、国政選挙で生活と福祉を守る日本共産党の躍進と市民と野党共闘が躍進させなければなりません。

今後も町民の暮らしを守るため、給食費の完全無償化、デマンドタクシーを近隣病院まで利用できるよう拡充、高すぎる国保税の値下げ、町道整備など町民要求の実現に向け奮闘して行きたいと思っております。2019年は国民生活に関わる大きな選挙が行われます。生活と福祉を守る日本共産党へのご支持、ご協力をお願い申し上げます。



日本共産党寄居町委員会
副委員長 町議
大澤 博



“新春恒例大凧揚げ” 冬晴れの空を舞う

元旦の午後に牟礼地区、今市地区の方たちが折原運動公園で正月行事の大凧上げを楽しんでいます。もともとは子供たちに楽しんでもらう為に始めたのですが、各地の大凧上げに学び、今では写真のような大凧が軽々と空を舞うようになりました。みんなの幸福を願う新春らしい行事です。

〇〇寄居町十一月議会報告

十二月定例町議会が、十二月四日から二十一日の間、開催されました。日本共産党寄居町議員団の質疑要旨をご紹介します。

●日本共産党議員団質問のトピックス

●学校給食無償化の推進について質問しました：大澤町議

給食費の無償化で出生率が高くなっている自治体があります。第三子以外の子どもの早期無償化を促しましたが、町長は明確な道筋を示しませんでした。

●生活道路である町道の整備を求めました：大澤町議

舗装の要望書提出から年月が経つ町道がなぜ改修されないのか、住民説明はしているのかを質問。交通量や緊急性によるかの回答でしたが、住民説明もなく住民不在の町政ではないでしょうか。

●国保税の負担軽減策が取れないかと質問：田母神町議

小鹿野町や皆野町では第三子以降の子どもの国保税減免を考えていますが、寄居ではその考えはないと即答。国の悪政に対する防波堤となる考えは無いようです。

●高齢者、交通弱者支援の考えをたえました：田母神町議

町政アンケートで要望が多かった緊急医療機関の充実、単身高齢に対する地域との繋がり構築、免許返上後の交通支援策充実、デマンドタクシーの広域化を質問しました。いずれも現行施策からの改善は考えられていません。



■大澤博 議員の質疑要旨

一、学校給食の無償化推進を

滑川町では幼稚園と保育園、小中学校の給食費を無償化し出生率県内1位を15年間で9回獲得しています。

【問】

町長は公約に給食費無償化を掲げ、第三子の給食費無償化は実現しています。今後、段階的無償化をどのように実施しますか。

【回答】

教育施策の充実強化に重点を置き、限られた予算を最も必要とされる事業に集中したいと考えます。

【問】

第三子の無償化費用は1001万円ですが、第二子から無償化した場合の費用はどの位ですか。小中学校給食費を完全無償化するときの費用はどの位ですか。

【回答】

第二子からの無償化費用は、約5000万円、小中学校完全無償化を実施する費用は約1億700万円を見込んでいます。

【問】

町長2期目の任期中に小中学校給食費の完全無償化を実施するのですか。

【回答】

事業効果等を検証しながら必要とされるものを判断し優先順位を考えていきます。

二、町道の整備促進を

町道は生活道路で改善要望も多く出されています。耕作放棄地、空家から草木が道路にはみ出し通勤・通学の妨げに【裏面に続く】

なっている所も多く見られます。

【問】 町道の舗装化要望が町民から多く出されています。町内7地区(市街地、男衾、鉢形、用土、折原、桜沢、西部)別の町道舗装化率はどの位ですか。

【回答】 地区別の集計はありませんが、町全体の舗装化率は、平成29年度末時点で53.2%です。

【問】 町道改善の要望書提出から十数年が経過した事案があり、いつになるのか不自信が出ています。対応状況と、状況説明の有無を伺います。

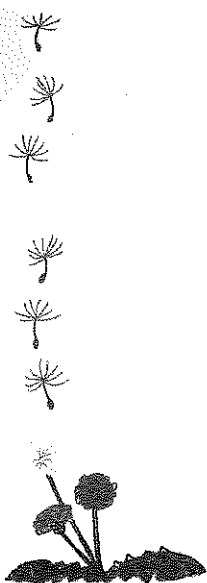
【回答】 その路線の交通量、安全対策の緊急性等で優先順位を判断して整備を進める中で、測量及び工事等に際し、関係者に対し事業説明会を行っています。未着手地には状況説明は行っていません。

【問】 町道の整備に町が生コンを支給しているが、どのような使用規定がありますか。又使用方法について町民に周知していますか。

【回答】 地域で行う道路補修(道普請)に対し、原材料の支給を行っています。支給に関して明文化の規定はありません。地区からの道路補修要望は道路委員を通じての申請になりますことから、町民に対する周知は行っていません。

【問】 耕作放棄地、空家からの草木のはみ出し等が今後増加すると予想されます。所有者が処置出来ない場合に対処する為の町独自の条例を制定にする考えはありませんか。

【回答】 民有地から道路にはみ出している草木は、土地所有者が管理することが原則です。条例の設定は考えておりません。



◆◆田母神 節子 議員の質疑要旨◆◆

「国民健康保険税の負担軽減」について

自治体によって保険税には大きな差があり、「高すぎる国保税を引き下げてほしい」との声があります。払えない世帯は加入世帯の15%にも及んでいます。

【問】 当町で滞納世帯数はどれくらいですか。保険証がないため手遅れになって命を落とした人がいますか。

【回答】 平成29年度の滞納世帯数は859世帯です。また、質問のような事例は当町では発生しておりません。

【問】 サラリーマンが加入する「協会けんぽ」と国保の保険料比率はどうなっていますか。(全国平均1.3倍)。

【回答】 国保が8万4千円、協会けんぽが10万9千円で、料金割合は、

1対1.30です。但し、国保は全額個人負担、協会けんぽの個人負担は半額です。

【問】 皆野町、小鹿野町では第3子以降の子どもの国保税減免を財政負担50万円以下で検討しています。当町で減免すると財政負担はどのくらいか。また、減免する考えはありませんか。

【回答】 試算は約150万円の見込ですが減免措置は考えていません。

【問】 災害で所得が激減した人には一時免除する制度がありますが、生活困窮者の国保税に対する常設免除制度も必要ではないでしょうか。

【回答】 非自発的失業者や一定の低所得者世帯に対する軽減措置があり、質問の制度は考えていません。

「高齢者支援」について

【問】 安心、安全な医療の充実について伺います。

①すべての人に保険証は渡っていますか。②埼玉よりい病院の機能が更に充実するよう、町から働きかけられませんか。③北部二次医療圏の専門医の分りやすい一覧表を作成できませんか。

【回答】 ①国保では20世帯、後期高齢者医療制度では一人に対し、一般被保険者証(郵送)が交付されていません。短期保険証対象者には現在も窓口で交付しています。

②埼玉よりい病院は、診療科が11から14に増え、救急車受け入れ件数も年1153件で、地域医療を支えていると認識しています。年1回、埼玉よりい病院を含む医療機関と意見交換を行っており、引き続き充実をお願いしてまいります。

③専門医の一覧表作成は、町がその情報を把握することが困難であり、一覧表の作成は考えていません。

【問】 単身高齢者の福祉施策の充実について伺います。

①地域とのつながりを持てる仕組みと対応はどうなっていますか。

②緊急通報システムの拡充はどう考えていますか。

【回答】 ①毎年、民生委員等の協力で高齢者宅を訪問し緊急時の連絡先等を確認しています。また、共助のまちづくりネットワークに地域住民、福祉関係機関等が参画し活動しています。

②緊急通報システムは、ひとり暮らしの65才以上で、日常生活に常時注意を要する方を対象に運用しています。利用希望者への案内、適切な運用に努めます。

【問】 高齢者等交通弱者の交通手段への配慮を伺います。

①運転免許証返納者への対応はどうしていますか②町外特に医療機関へのデマンドタクシーの拡大はできませんか

【回答】 ①利便と社会生活圏拡大の為に、タクシー利用料金の助成事業を実施しています。また、返上者にデマンドタクシー登録勸奨用リーフレットの配布を行っています。

②デマンドタクシーは、町内の交通不便地域における移動手段の確保を目的としており、町外への拡大は考えていません。

